

第1章

名詞.....単語はイメージで.....

① 前置詞＋名詞

序章で述べたように、名詞と動詞は、英文の意味を作るのに大きな役割を果たします。そこで、次の英文を見てください。

The plane **for** London took **off from** Narita at 5:00 p.m.
(ロンドン行きの飛行機は午後5時に成田を離陸した)

この for, off, from, at といった前置詞は、名詞や動詞と同じように、むしろそれ以上に、大切な役割を果たしているのがわかると思います。そこで、こういった前置詞の働きを身につけることから始めましょう。

前置詞とは

名詞の前にあり、それ自体が意味をもちながら名詞を支配すると同時に、動詞を補完しながら動詞の意味を決めていく語

としておきます。

on＋名詞 / on＋動名詞のように、前置詞の後には、名詞か動名詞（動詞の語尾に-ingをつけた形）が続きます。ただし、withには、原則として名詞しか続かないことに注意してください。duringも名詞のみです。

●「散歩中に」→ (×) *during walking* → (○) *while walking*

Notes たとえば、onの後に名詞が続かない場合、前置詞と考えずに副詞と考えることがあります。しかし、品詞の分類にこだわらなくても、その単語自体がもっている意味（基本意味）を考えていけば、全体を理解できるはずです。

前置詞の「基本的な働き・意味」

➡ それぞれの前置詞ごとに、「1つのイメージ」としてまとめる

前置詞は、使われる状況によって、いろいろな日本語に置き換えられますが、「イメージとして1つだけ」覚えておき、それを出発点に状況を考え

ていけば、簡単に適切な日本語に置き換えることができるはずです。

以下、個々の前置詞の基本的な働き・意味を□に提示し、代表的な例をあげながら説明していきますので、この「1つのイメージ」をつかんでください。

Notes 本書では、このようなアプローチを採りますが、前置詞の習得方法のもう一つの極にあるのが、日本語の「の」「で」「に」を出発点にする方法です。

結局、両方のバランスをとりながら学習を進めるのが最善の学習法でしょう。詳しいことは拙著『英文法は活きている』（プレイス刊）の第3章を参照してください。

① on ➡ 「接着（力）」(↔ off)

「接着」しているためには、「力」が必要になります。「力」が失われると off になります。

●「壁の絵」→ the picture **on** the wall ☞ 絵が壁に「接着」

●「天井のハエ」→ the fly **on** the ceiling ☞ ハエが天井に「接着」
子供に対して、

●「手はひざ！」→ **On your lap.** ☞ 手がひざに「接着」

熱いスープを前にした子供に、

●「フーフーしなさい」→ **Blow on it.** ☞ 息をスープに「接着」

高いビルの上から下を見る場合に、

look down at the town / look down on the town

のように on を用いると、at よりも視線を「接着」させてじっと見ている感じになります。

●「彼は旅に出ました」→ He has gone **on** a trip.

この on は trip（「けつまずく」という意味の動詞用法があることと関連づけ、「日常からちょっと外れた行事」が基本意味）に「接着」している感じで、

●「(旅の)途中で名古屋に立ち寄った」→ I stopped **off** in Nagoya.

の off との関係で比較してみてください。

Notes upon は up＋on で、up は「中心[目標]に向かい、(到達による)完全さ」を表します(☞⑩)。